

<p>経済・経営</p>	<p>【代表的な研究テーマ】</p> <p><input type="checkbox"/> 公共入札</p> <p><input type="checkbox"/> 競争政策</p>
<p>key word</p>	<p>課題解決に役立つシーズの説明</p>
<ul style="list-style-type: none"> ■ 公共入札 ■ 入札談合 ■ 競争政策 ■ 応用計量経済学 ■ 機械学習 	<p>【研究テーマ】</p> <p>私の研究テーマは公共入札に関するデータ分析です。これまでの研究では、</p> <p>(1)入札談合が行われているかどうかを入札データから検出するための分析手法の開発</p> <p>(2)電子入札の導入が入札参加者の行動に与える影響の検証</p> <p>(3)入札価格と公共工事の品質の関連性の検証</p> <p>といったテーマに取り組んできました。</p>
	
<p>石井 利江子 Rieko Ishii</p>	
<p>経済学部 教授</p>	
<p>【プロフィール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京工業大学工学部卒業 ・大阪大学経済学研究科博士後期課程 単位取得退学(博士 経済学) ・アクセンチュア株式会社 (2000年～2002年) ・首都大学東京(東京都立大学)准教授(2009年～2012年) ・滋賀大学准教授(2012年～2022年)、教授(2023年～) 	
<p>【主な社会的活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滋賀労働局最低賃金審議会 公益代表委員 ・大津市入札監視委員会委員 ・彦根市入札監視委員会委員 ・日本学術会議連携会員 ・公正取引委員会主任研究員 	<p>企業・自治体へのメッセージ</p> <p>私は上述の研究で得た経験から、入札データを分析しやすい形に加工し、特徴を可視化し、統計的な傾向を分析する手法についてアドバイスすることが可能です。データをご提供いただける場合には、直接的に分析に協力することも可能です。</p> <p>また、入札データを公開し、入札の透明性を高めることは、入札談合などの不正を防止する上では非常に重要だと考えられています。入札談合などの不正を防止するためにはどのような形式で情報を公開するとより効果的であるか、これまでの経験に基づき見解を申し上げることが出来ます。</p> <p>さらに、自治体で実施された政策がどのような効果をもたらしたかを検証する手法についても、計量経済学の因果推論の観点からアドバイスすることが出来ると思います。</p>
<p>【主な研究業績】</p> <p>1)Ishii, Rieko. "Favor exchange in collusion: Empirical study of repeated procurement auctions in Japan." <i>International Journal of Industrial Organization</i> 27.2 (2009): 137-144.</p> <p>2)Huber, Martin, David Imhof, and Rieko Ishii. "Transnational machine learning with screens for flagging bid-rigging cartels." <i>Journal of the Royal Statistical Society: Series A</i> (2022).</p>	